

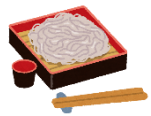
野馬土の新聞

(Web版)

2021年11月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白髭320
TEL.26-8437
FAX.26-8203



十月十六日(土)カフェ野馬土にて『そば打ち体験教室』を開催しました。講師は、宮城県在住の並木謙之介さん。江戸ソバリ工・蕎麦鑑定士一級の資格をもつ蕎麦のプロです(笑)今回は、参加者十名のうち六名が男性。いつもとは違った雰囲気で終始楽しくそば打ちを体験しました。コロナ禍のため、打ちたてのお蕎麦はそのままお持ち帰りいただき、お家でじっくり味わっていただきます。後日、参加者のおひとりに感想を聞いたところ、蕎麦の香りと味が絶妙でペロリと食べてしまいましたとのこと。申込み多数だったそば打ち体験教室、第二弾も検討しています。

心の復興事業『そば打ち体験教室』



ALPS処理水海洋放出の 取扱いについての説明会

十月十九日、カフェ野馬土にて東京電力復興本社の申し入れにより、問題となつていいる「処理水海洋放出」の取扱いについて説明会がありました。野馬土スタッフの他、原発二十km圏内ツアーのガイドが話を聞きました。港湾内の海水が希釈用の海水と直接混合しないようにする港湾設計やALPS処理水が実際に放出されるまでの設備の全体像、風評被害が生じた場合の対策など、丁寧な説明がされました。すべてが納得できる説明ではなく、海洋放出する前に海水で希釈することに意味があるのか「賠償については海洋放出の前後ではなく、震災前からを基準として継続すべき」など様々な意見があげられました。二〇二三年度には放出が開始される予定のALPS処理水。今後の動きに注視してまいりたいと思います。

福島第一原発二十km圏内ツアー

コロナ禍で参加者が十分の一に減ってしまったツアーですが、感染者の激減とともに徐々に回復してきました。十月二十八日の中央大学、二十九日の関西大学、十一月六日の福島大学と、このところ大学生のツアー参加が続きました。中央大学は、原発の立地地域の研究をしているゼミの皆さんでした。このツアーが、参加された皆さんの将来を考える上で役に立つツアーになるよう企画・案内をしていきたいと思ひます。



『のまご感謝祭』

二年ぶりに開催!

朝から秋晴れに恵まれた十月三十日(土)二年ぶりとなる『のまご感謝祭』を開催しました。感染者数は減少しているもののコロナ禍での開催ということもあり、おふるまいやステージの催しなどは行わず、クリスマスリースづくりワークショップやお菓子づくりなど、感染対策をバッチリにしている範囲で工夫を凝らしながら開催しました。ハロウィンにちなんで、仮装してきた子どもたちにはフォトスポットで写真撮影を楽しんでいただきました。スタッフも仮装して会場を盛り上げました☆

